

「One」IBMでご支援する グローバル時代の プロジェクト／プログラム・マネジメント

日本アイ・ビー・エム株式会社
取締役副社長執行役員
グローバル・テクノロジー・サービス事業本部長

下野 雅承

Masatsugu Shimono



「グローバルなバリュー」の提供を目指して

IBMは自らの「グローバルに統合された企業」(GIE: Globally Integrated Enterprise)への変革を進め、IBMならではの価値をお客様にお届けするために常に進化し続けています。世界170カ国以上で地域ごとの市場特性に合わせて、グローバル・レベルの知的財産、人材・スキルを組み合わせ、サービス提供を実現してきました。

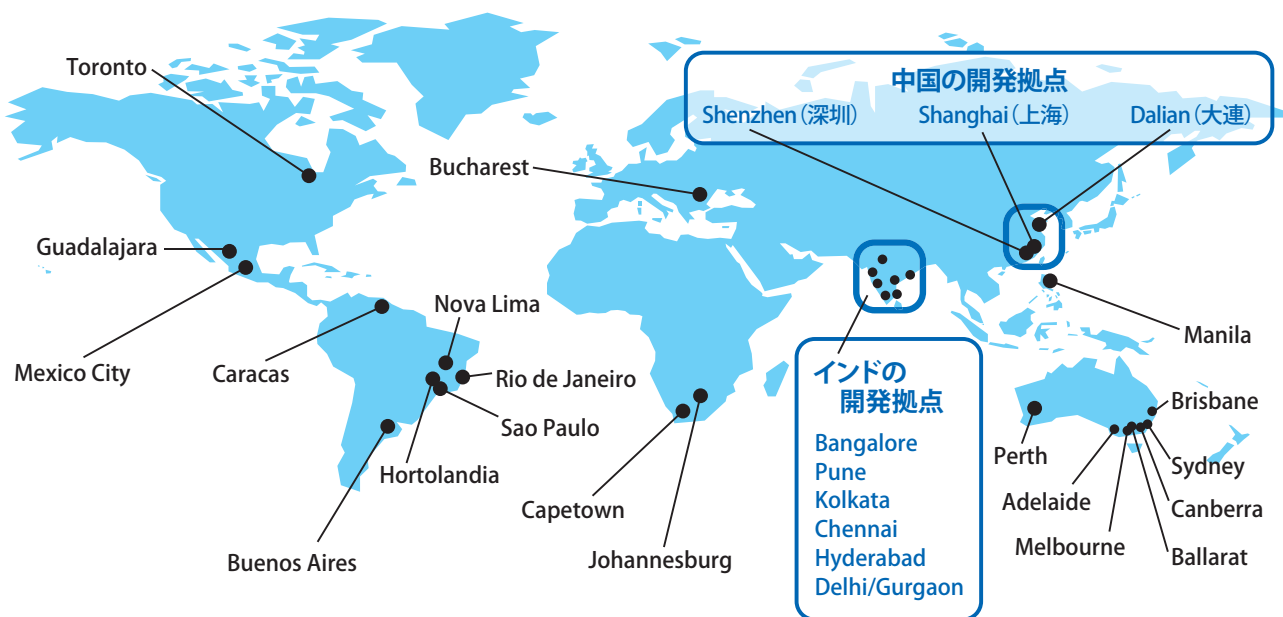
ITの進化は企業活動のグローバル化をさらに加速させていきます。お客様の海外での事業展開に伴い、グローバルなレベルで実施されるプロジェクトの成功に向けて、日本IBMはIBMコーポレーションの一員として、お客様をご支援していきます。

「グローバル化」を支える プロジェクト／プログラム・マネジメント

この10年間、コスト競争力や優秀なIT人材の確保の面で、ITサービスにおけるグローバル・リソースとの協業モデルが定着してきました。この間IBMでは、世界各国に30拠点以上のグローバル開発センター(図1)を開設し、適切なスキル要員の確保とデリバリーの最適化を促進してきました。

マルチ・カルチャー、マルチ言語のプロジェクトを実施していく中で、われわれはグローバルに

図1. IBMのグローバル開発センター



において共通言語となるプロジェクト・マネジメント方法論やプロジェクト・マネジメント・ツールの必要性を学んできました。IBMでは世界共通のプロジェクト・マネジメント方法論とツールを開発し、すべての国と地域で適用しています。

また、グローバル・プロジェクトの拡大により、各国や地域で実施される個々のプロジェクトを一つのプログラムとして捉え、ガバナンスや事業価値を重視するプログラム・マネジメントの必要性が高まっています。プロジェクトを横断的に一元管理するプログラム・マネジメントは、お客様のグローバル戦略や事業戦略の達成に貢献できるものと考えています。

今後もさらなるグローバル化が進み、国際的な競争の激化が予想されます。IT人材の調達先も一層のグローバル化が進み、プロジェクト/プログラム・マネジメント方法論やツールの重要性はさらに増していくでしょう。IBMはグローバル共通のマネジメント基盤をベースに、国や地域の枠組みを越えたテクノロジーとサービスの提供を目指していきます。

グローバル人材の育成

IBMではグローバル共通のプロジェクト/プログラム・マネジメント基盤作りとともに、ITサー

ビスの幅広い人材育成が重要と考えています。そのため、世界共通の人材育成プログラムの下で、プロジェクト・マネジャー、プログラム・マネジャーに特化した研修制度、およびプロフェッショナル認定制度を実施しています。多くの実践経験を積んだプロジェクト・マネジャー、プログラム・マネジャーが、お客様のビジネスを成功に導くために取り組んでいます。

今後は、ITサービスの視点に加えて、ビジネスの視点においてもお客様の企業戦略の達成に貢献できるプログラム・マネジャーの育成に力を注ぎます。IBMはこれからも、IBMならではの価値をお客様に提供できる人材育成に継続的に取り組んでまいります。

プロジェクトマネジメント学会での 長年にわたる功績を認められ、 2013年度「学会賞」を受賞

プロジェクト・マネジメントを学問・技術の体系として整備、確立、発展させ国際社会に寄与することを目的に設立された一般社団法人プロジェクトマネジメント学会。下野雅承は、同学会のアドバイザー・ボードメンバーとしての長年の活動、および、社内外へのプロジェクト・マネジメントの普及活動、プロジェクト・マネジャー育成への貢献が評価され、2013年度「学会賞」を受賞いたしました。

